

全編解説

浄土論註

社会環境による苦惱解決への道

真宗・浄土教

ひしき まさはる
菱木政晴著 ▼A5判・上製カバー・674頁・定価 一三、二〇〇円



近代教学とは異なる『浄土論註』理解によつて専修念仏・往還二回向の根源的意義を明らかにし、現実社会における救いの姿を描き出す！

2025年3月刊行

【目次】

まえがき——近代教学とまったく異なる解説

◆第一部 序編

第1章 『論註』とはどのような書物か／第2章 香月院「註論講苑」文前玄義の概要

◆第二部 本編(上)——偈文の註

第3章 『論註』は「浄土論」をどう読もうとしたか——難易二道判の決定的な意味／第4章 「我一心」とは何か／第5章 はじめの一行に、礼拝・讃嘆・作願の前三念門が込められている／第6章 仏教の功德と浄土の相——我依修多羅真実功德相説願偈総持与仏教相応／第7章 「観」とは何か——専修念仏者にとつての観仏・観国土／第8章 極楽浄土とは何か(1)——国土の様相前半(その一)／第9章 極楽浄土とは何か(2)——国土の様相後半(その二)／第10章 極楽浄土とは何か(3)——国土の様相後半(その二)／第11章 極楽浄土とは何か(4)——国土の様相後半(その二)／第12章 極楽浄土とは何か(5)——国土の様相後半(その三)と決成／第13章 極楽とは何か(1)——住人の様態(仏莊嚴その一)／第14章 極楽とは何か(2)——住人の様態(仏莊嚴その二)／第15章 極楽とは何か(3)——住人の様態(仏莊嚴その三)——不虛作住持功德／第16章 極楽とは何か(4)——住人の様態(四種の菩薩莊嚴)／第17章 極楽の人数とは誰か——八番問答

◆第三部 本編(下)——長行の註

第18章 『論註』下巻に入るにあたって——長行を十科に分ける／第19章 「願生偈」には何が書かれているのか——願偈大意／第20章 起観生信章とは何か／第21章 その名にふさわしい讃嘆——讃嘆門(その一)／第22章 如実修行とは何か——讃嘆門(その二)／第23章 如実に奢摩他・毘婆舍那を修行せんと欲す——作願門・觀察門読解／第24章 如来の回向と衆生の往還

——回向門読解／第25章 観察体相章とは何か(その一)／第26章 極楽の莊嚴が意味すること——観察体相章(その二) 国土の体相／第27章 天親と曇鸞の浄土観——観察体相章(その三) 自利利他を示現す／第28章 仏を見るとはどういうことか——観察体相章(その四) 衆生世間／第29章 極楽の人数であるとはどういうことか——観察体相章(その五) 不虛作住持から菩薩四種の功德／第30章 願いをかたちで表す——願心莊嚴／第31章 浄土の大菩提心とは何か——善巧摂化章読解／第32章 願いを妨げるものとその克服——離苦提障から願事成就まで／第33章 自利と利他が満足に調和する——利行満足(その一)／第34章最終章 弥陀と変わらぬ力で他者を利益する希望——利行満足(その二)及び結び

参考文献
あとがき

◆著者略歴

菱木政晴(ひしき まさはる)

一九五〇年、金沢市生まれ。宗教学者、真宗大谷派僧侶、元同朋大学特任教授。長年にわたり真宗大谷派の戦争責任を追及すると同時に、政教分離訴訟などの平和と人権の市民運動にも関わる。著書に『浄土真宗の戦争責任』(岩波ブックレット)、『解放の宗教へ』(緑風出版)、『非戦と仏教——批判原理としての浄土』からの問い』(市民的自由の危機と宗教——改憲・靖国神社・政教分離)、『ただ念仏して——親鸞・法然からの励まし』、『極楽の人数——高木顕明「余が社会主義」を読む』、『平和と平等の浄土論——真宗伝統教学再考』(以上、白澤社)など。共著に『殉教と殉国と信仰と——死者をたたえるのは誰のためか』(白澤社)。翻訳書に『ホイットヘッド著作集第12巻 観念の冒険』(共訳、松籟社)など。

注文書	
(書店印)	
様冊	ご担当
法藏館 定価 一三、二〇〇円	
菱木政晴著 全編解説 浄土論註	
社会環境による苦惱解決への道	
ISBN: 978-4-8318-8800-6 C3015	お名前
お電話	ご住所

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp